

### 3 くらしを守る

#### (1) 火事からくらしを守る



【たて物が火事で焼けたあと】

#### ① 火事を消すためのくふう

火事は、家や家具だけでなく、わたしたちの大切な命もうばってしまうことがあります。わたしたちは火事を出さないように、ふだんから気をつけていなければなりません。しかし、火事はちょっとしたゆდანから起こります。そのようなときのために、わたしたちの身の回りには、いろいろなせつびが整えられています。

火事のおそろしさは、どんなところにあるのか、どのようにすれば自分たちの命やたて物などを火事から守ることができるのか、みんなで話し合ってみましょう。



火事が起きたら、だれがどのようにして、わたしたちの生活を守るのでしょうか。

## ② 消ぼう団しょうだんのやくわり

わたしたちの村で火事が起こったとき、かけつけてくれるのが消ぼう団です。消ぼう団の人は、ふだんは自分の仕事をしていますが、火事や地しんなどを知らせるサイレンが鳴ると、仕事をやめて、すぐにかかけつけます。そして、火を消したり、子どもやお年よりが、安心してにげることができるように手助けしたりしてくれます。

また、日ごろから消火訓練しょうかくんれんやポンプの手入れ、消火せんやぼう火水そうの見回りもしています。



【学校でのぼうさい訓練くんれん】



【放水訓練】



【消防団が使う消ぼう車】



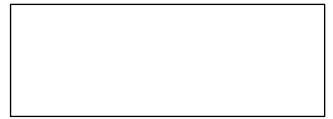
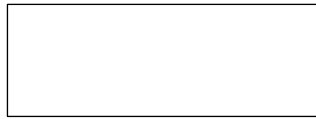
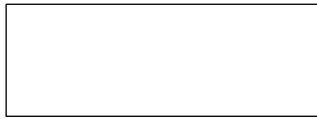
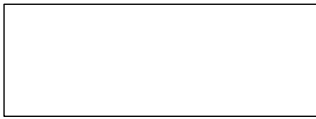
消ぼう団の仕事についてしらべましょう。  
消ぼう団ではたらく人たちと消ぼう署しょうしょではたらく人たちの仕事のちがいについてしらべましょう。

## ③ 火事をふせぐ

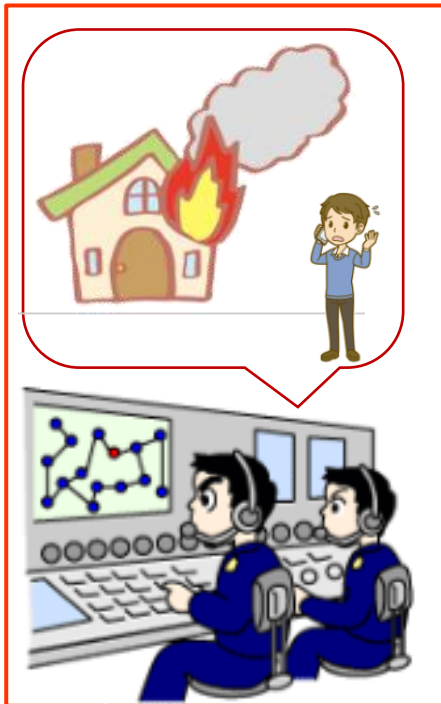
学校には火事から守るためのいろいろなせつびがあります。学校のぼう火や消火のためのせつびについて調べてみましょう。



わたしたちの周りには、どのような消ぼうせつびがあるのでしょうか。（この消ぼうせつびは何だろう。）



#### ④ 火事が起きたら



【119番の電話から消ぼう車が到着するまで】